



ALAIN DELON

L'UNIQUE ET SON DOUBLE

PROGRAMMATION SPÉCIALE À L'OCCASION
DU TOKYO INTERNATIONAL FILM FESTIVAL 2015

Invité : Masaya Nakahara
du 23 octobre au 1^{er} novembre
à l'Institut français du Japon - Tokyo

第28回東京国際映画祭 提携企画

アラン・ドロン特集

唯一無二、そしてその分身

特別ゲスト：中原昌也

10月23日(金)～11月1日(日)

会場：アンスティチュ・フランセ東京 エスパス・イマージュ

主催：アンスティチュ・フランセ日本

INSTITUT
FRANÇAIS

アンスティチュ・フランセ東京
JAPON - TOKYO

アラン・ドロンとはいっていい誰だろう？

目を奪われるほど美しく、獰猛で、ミステリアスで捉えどころがなく…。

ヴィスコンティ、クレマン、メルヴィル、ロージー、アントニオーニ、カヴァリエ、ゴダール、多くの巨匠たちにインスピレーションを与えてきたフランス映画を代表する俳優。ドロンはスクリーンに現れた瞬間、その登場人物をとらえ、仕草、動き、シルエットによって純粋に映画的としか言いようのないオーラで刻み込む。その存在によって決定的に映画史を変革してしまう俳優がこの世に何人かいるとしたらアラン・ドロンはまさしくその一人であるだろう。唯一無二の存在でありながら、彼はつねにその「分身」を演じてきた。永遠のスター、アラン・ドロンの60年近くに亘るキャリアを称え、そして80歳の誕生日を祝し、その代表作を一挙特集する。

ALAIN DELON



日本の友人の皆様

この度、アンスティチュ・フランセ日本が東京国際映画祭との提携のもと、私の特集を開催してくれる国であり、すべての世代のファンの人たちが私の作品を発見、あるいは再発見してくれることを幸せに思います。

アラン・ドロン

Chers amis,

C'est avec un immense plaisir que j'ai appris que l'Institut français au Japon en collaboration avec le Tokyo International Film Festival me rendra hommage à l'occasion de sa prochaine édition. Comme vous le savez, le Japon est un pays qui a beaucoup compté dans ma carrière d'acteur ainsi, je ne peux que me réjouir de savoir que mes fans de toutes générations auront l'occasion de découvrir ou redécouvrir mes films.

Alain Delon

太陽がいっぱい Plein soleil de René Clément

[フランス=イタリア／1959年／120分／デジタルリマスター版／カラー／日本語字幕]
監督:ルネ・クレマン 出演:アラン・ドロン、マリー・ラフォレ、モーリス・ロネ

貧しい青年トム・リブリーは、恋人とイタリアで休暇を過ごしている道楽息子のフィリップをカリフォルニアに連れ帰るよう、大金持ちであるフィリップの父親から頼まれる。友人であるフィリップが向けてくる裏切りにもかかわらず、トムは少しずつ若いカップルに干渉するようになる。そして、羨望と嫉妬にかられたトムがフィリップに成りすまそうとするが…。パトリシア・ハイスマスの原作を『禁じられた遊び』などで知られるルネ・クレマンが監督した。主演のトム・リブリーを演じたドロンは野性味あふれる美貌と肉体美を見せつけ、一気に世界的なスターとなった。

「私にとってルネ・クレマンは、最も偉大な演出家だ。私はいつもこのエピソードを思い出す。『エデンの東』でジェームズ・ディーンの母親を演じたジョー・ヴァン・フリートはエリック・カザンが最も偉大な演出家だと考えていた。しかし『海の壁』以降、それは、ルネ・クレマンなのだ。(アラン・ドロン)」



© ROBERT ET RAYMOND HAKIM PRO / Plaza Production International / Comstock Group



© MEDITERRANEE CINEMA / MIZAR FILMS / AGATA FILM - 1964

2015年完成4K修復版Blu-ray発売記念 特別先行上映

黒いチューリップ La Tulipe noire de Christian-Jacques

[フランス=イタリア=スペイン／1964年／113分／デジタルリマスター版／カラー／日本語字幕]
監督:クリスチャン=ジャック 出演:アラン・ドロン、ヴィルナ・リージ、ドーン・アダムス

1789年、フランス革命前夜。スペインに程近いルーション地方では、「黒いチューリップ」と呼ばれる神出鬼没の快盗が暗躍していた。貴族を罰し庶民から崇められていた「黒いチューリップ」は、自身も貴族であるギヨームだった。警官と争った際に顔に傷を負ってしまい、もはや自分の正体を隠しとおせないと悟ったギヨームは、自分と瓜二つの双子の弟ジュリアンに身代わりを頼むのだが…。ドロンが、双子の兄弟ギヨームとジュリアンを演じ分ける。まったく正反対の性質を持った弟が鍛錬の末、外見ばかりでなく中身までが兄に似てくるというドロンのフィルモグラフィーの隠されたテーマとも言える“もう一人の自分”が視覚的も浮かび上がってくる作品。

超美麗4K修復版Blu-ray『黒いチューリップ』11月27日発売！4,800円(税抜) 発売元:IMAGICA TV 販売元:KADOKAWA



© Societe Nouvelle de Cinematographie (SNC) - Paris 1967.

冒險者たち Les Aventuriers de Robert Enrico

[フランス／1967年／113分／デジタル／カラー／日本語字幕]
監督:ロベール・アンリコ 出演:リノ・ヴァンチュラ、アラン・ドロン、ジョアンナ・シムカス、セルジュ・レジアニ
元レーサーのローランとアクロバット飛行のインストラクターのマヌーは兄弟のように仲が良く、性格はそれぞれ違うものの人生に強い刺激を求めていたところはそっくりだった。仕事が上手くいかないふたりは、芸術家の卵であるレティシアと共に海底に沈んだ財宝を探し求めてコンゴ沖までやってきたが、財宝を狙っているのは、彼らだけではなかった…。恋愛感情と友情が入り混じった3人の男女による冒險映画。本作でドロンは主演ではあるものの、リノ・ヴァンチュラとジョアンナ・シムカスとのアンサンブルが素晴らしい、ドロンの自らの役に対する理解の深さをうかがわせる青春映画。



© DR



© 1968 SNC.



© 1970 STUDIOCANAL - Fono Roma



© 1972 STUDIOCANAL - Oceania Produzioni Internazionali Cinematografiche SRL Euro International Films SpA



© Taramsa Distribution

サムライ Le Samouraï de Jean-Pierre Melville

[フランス=イタリア／1967年／95分／35ミリ／カラー／日本語字幕]

監督:ジャン=ピエール・メルヴィル

出演:アラン・ドロン、フランソワ・ペリエ、ナタリー・ドロン、カティ・ロシェ

トレンチ・コートにソフト帽のジェフは、仕事に対して完璧主義を貫く優秀な殺し屋である。クラブ経営者殺害の依頼も、盗難車のナンバー・プレートを取り替え、恋人ジャンヌにアリバイ工作を頼んで難なく片付けた。だが、廊下で歌手ヴァレリーにはっきりと顔を見られてしまう…。メルヴィルはあらゆる無駄を省いたスタイリッシュなカメラと、孤独な殺し屋=サムライを演じる31歳のドロンがぶつかり、フランス映画史上最高傑作・ノワールが誕生した。

「メルヴィルは完璧なる映画人、すべてをこなす作家だった。脚本を書き、演出し、制作し、編集し、音楽もつける。『サムライ』の光もメルヴィルなんだ。彼がすべてをアントン・カルーエに説明した。カラーで『モノクロ映画』を撮りたいとね！」(アラン・ドロン)

太陽が知っている La Piscine de Jacques Deray

[イタリア=フランス／1969年／124分／デジタル／カラー／日本語字幕]

監督:ジャック・ドレー

出演:アラン・ドロン、ロミー・シュナイダー、モーリス・ロネ、ジェーン・バーキン

サントロペの豪華な別荘で作家のジャン=ポールと恋人のマリアンヌは快適な休暇を過していた。しかし、マリアンヌの元恋人ハリーとその娘ベネローブが別荘に来てからすべては変わった。嫉妬と憎悪が入り混じった四人の男女の間で高まる緊張がある事件へと発展していく…。『太陽がいっぱい』でもライバルを演じたモーリス・ロネ、かつての婚約者ロミー・シュナイダー、うら若いジェーン・バーキンとの共演が話題を呼んだ作品。

「俳優は、身体的に厳しく、とても厄介で、孤独な職業だ。突然死してしまわないためには、強い精神とがっしりとした肩が必要なんだ。そして朝、人々の視線はまったく違う。これは恐怖だよ。不幸にその人生を終えた俳優のリストは短くない…」(アラン・ドロン)

仁義 Le Cercle rouge de Jean-Pierre Melville

[フランス=イタリア／1970年／140分／35ミリ／カラー／英語字幕]

監督:ジャン=ピエール・メルヴィル

出演:アラン・ドロン、アンドレ・ブルヴィル、ジャン・マリア・ヴォロンテ、イヴ・モンタン

移送中に列車から逃げ出した容疑者が潜り込んだのは、出所したばかりの男の車のトランクだった…。命を助けられた事をきっかけに意気投合したふたりは、元警官の狙撃者を交えて、パリの高級宝石店の強盗をたくらむ。綿密に計画を実行する3人に対し、刑事たちもその面子にかけて、巧みに罠を仕掛けるが…。『サムライ』に続いているアラン・ドロンが主演に起用された犯罪映画。メルヴィルはドロンについて「最後の“スター”だ。フランスは言うまでもなく、全世界を見てもそうだ。彼は30年代のハリウッド的な“スター”なんだ」と絶賛している。原題の「赤い輪」とは、冒頭でブッダの言葉が引用されているが、異なる背景を持つ人間同士が“赤い輪の中で”必然的にめぐり合ってしまう運命のことを指している。

リスボン特急 Un flic de Jean-Pierre Melville *東京国立近代美術館フィルムセンター所蔵作品

[イタリア=フランス／1972年／100分／35ミリ／カラー／日本語字幕]

監督:ジャン=ピエール・メルヴィル

出演:アラン・ドロン、カトリー・ヌーヴー、リチャード・クレンタ

かたい友情の絆で結ばれながらも、対決の運命に向っていくパリ警察の鬼刑事と、夜のパリに君臨する顔役の二人の男。そして、その蔭で生きる哀しい女の運命を描く、フィルム・ノワール。表向きはナイトクラブ経営者の顔を持つシモンは、実はギャングであり、仲間たちと銀行強盗を決行する。さらに、リスボン行き特急車内での麻薬取引現場を襲撃し、麻薬の強奪に成功する。警察署長のエドアール・コールマンはこのふたつの強盗事件の主犯がシモンであるとにらむ。だが、シモンはコールマンの友人でもあった…。

「人はしばしば他人からインスピレーションを受けるものだけれど、忘れてはならないのは、メルヴィルは誰からもインスピレーションを受けていない、ということだ。彼は、彼の世界観、彼の映画に対する考え方を自分で作り上げたんだ。」(アラン・ドロン)

パリの灯は遠く Monsieur Klein de Joseph Losey *川喜多記念映画文化財団所蔵作品

[フランス／1976年／122分／35ミリ／カラー／日本語字幕]

監督:ジョゼフ・ローズ

出演:アラン・ドロン、ジャンヌ・モロー、シュザンヌ・フロン、ミカエル・ロンダル、ジュリエット・ベルト

1942年3月、ドイツ軍占領下のパリ。人々は暗く沈んでいたが、美術商ロペール・クラインは、裕福なユダヤ人たちが手放さざるを得ない美術品を安く買いたい。ある朝、彼の元にユダヤ人コミュニティの情報紙「ユダヤ通信」が送られてくる。なぜ、ユダヤ人ではない自分宛に送られてきたのか?自分と同姓同名の人間がいて、その男がユダヤ人だとしたら…。危険を避けるために始めた“もう一人の自分探し”。ドロンは、ナチスドイツのユダヤ人狩りを背景に、自分の“ドッペルゲンガー”を追わずにはいられない男の自らのアイデンティティを賭けた焦燥を演じる。ドロン自らがプロデュースに乗り出し、「最も誇りとしている作品」。

『パリの灯は遠く』の脚本を読んだローズはすぐに私に電話してきた、「私がこの映画を撮る！」と。そして「クライン氏を演じてみたいか」と聞かれた。私は「もちろんです」と答え、そして製作も手がけることになった。(アラン・ドロン)

CALENDRIER 上映スケジュール

10月23日(金)	19:00	パリの灯は遠く <i>Monsieur Klein</i> (122分)
	12:00	太陽がいっぱい <i>Plein soleil</i> (120分)
10月24日(土)	15:00	仁義 <i>Le Cercle rouge</i> (140分)
	18:30	太陽が知っている <i>La Piscine</i> (124分)
10月25日(日)	12:00	仁義 <i>Le Cercle rouge</i> (140分)
	15:30	太陽が知っている <i>La Piscine</i> (124分)
10月30日(金)	19:00	仁義 <i>Le Cercle rouge</i> (140分)
	12:30	冒險者たち <i>Les Aventuriers</i> (113分)
10月31日(土)	15:30	黒いチューリップ <i>La Tulipe noire</i> (113分)
	18:30	リスボン特急 <i>Un flic</i> (100分)
11月1日(日)	11:30	リスボン特急 <i>Un flic</i> (100分)
	14:00	サムライ <i>Le Samouraï</i> (95分)
	16:30	パリの灯は遠く <i>Monsieur Klein</i> (122分) *上映後、トークショーあり(ゲスト:中原昌也)

* 開場:20分前

* 料金:一般:1200円／学生:800円／会員:500円

* チケット販売時間: 上映当日各回の1時間前から上映開始20分後まで。チケット販売時間内には、当日すべての回のチケットをご購入いただけます。全席自由。整理番号順での入場とさせて頂きます。また、上映開始20分後の入場は、他のお客さまへの迷惑となりますので、固くお断りいたします。

* ouverture des portes : 20min avant la projection

* tarifs : plein tarif : 1200 yens, étudiants : 800 yens, adhérents : 500 yens

* les billets seront mis en vente 1 heure avant chaque séance, et jusque 20 minutes après le début de chaque séance.

会場・お問い合わせ アンスティチュ・フランセ東京

〒162-8415 東京都新宿区市谷船河原町15

tel:03-5206-2500 fax:03-5206-2501

www.institutfrancais.jp/tokyo  www.facebook.com/IFJTokyo



「第28回東京国際映画祭 提携企画 アラン・ドロン特集 唯一無二、そしてその分身」

主催:アンスティチュ・フランセ日本

アンスティチュ・フランセ日本 映画プログラム オフィシャル・パートナー:笹川日仏財団、アニエスベージュジャパン株式会社
フィルム提供及び協力:コムストック・グループ、エディション・ルネ・シャトー、IMAGICA TV、川喜多記念映画文化財団、
メダリオンメディア、東京国立近代美術館フィルムセンター、タマサ・ディストリビューション、ザジフィルムズ
特別協力:東京国際映画祭、ユニジャパン、マームドフィルム

Alain Delon, l'unique et son double

organisé par l'Institut français du Japon

avec le soutien de : Institut français, Fondation Sasakawa, agnès b.

merci à : Comstock Group, Editions René Chateau, IMAGICA TV Corp., Kawakita Memorial Film Institute,
Medallionmedia, Mermaid Films, National Film Center, Tamasa Distribution, Zazie Films.

**INSTITUT
FRANÇAIS**



agnès b.

